

地表環境研究室(けら研)事務局周辺の出来事

2004年度下半期(10月-3月まで)

[とつぷぺいじへ戻る](#)

[2004年上半期\(1月-9月\)記事へ](#)



2005.03.29 02:01

学会発表の日の未明(東京)



2005.03.26

水環境学会主催 第4回「水ものがたり」
高校生から大学院生まで、広い学年範囲での
研究発表が行われました(仙台)。室長も僭越
ながら、アドバイザーとして参加させていただきました。



平泉柳之御所発掘調査事務所にて 2005.03.17
 建物の壁にアイオン台風、カスリン台風にもなう洪水水位が記されています。ここは下から2段目の完新世段丘面？上です。
 平泉一関地区やそれより下流の川崎村などには、いたる所にこのような標識があります。皆さんも是非お出かけ下さい。



第5回平泉文化フォーラム 基調講演 入間田宣夫先生 2005.02.19
 世界文化遺産登録にむけて平泉では多くの研究活動が進められています。基調講演の入間田先生のお話は、歴史学的見地からの義経再評価であり大変興味深く拝聴致しました。



平泉文化フォーラム 野中さんの発表風景 2005.02.19

300人を超える一般の方々がお集まり下さいました。

鳴瀬町奥松島縄文村講演会(シンポジウム) 2005.02.06



今年4月に合併し東松島市になる鳴瀬町と矢本町の共同主催で上のポスターのような立派なシンポジウムが開かれました。鳴瀬町の奥松島縄文村歴史資料館の菅原さんが企画の中心です。前半は昨年の発掘についての解説が両町の発掘担当者からあり、後半は岡村氏(奈文研)、熊谷氏(東北学院大・文)、菅原氏、佐藤氏、赤沢氏と松本がパネラーとなって、東松島市の歴史と文化について話し合われました。一般の方の参加者は250名以上とのことでした。

タイで開かれた国際会議の様様

International Conference on Environmental Hazards and Geomorphology

in Monsoon Asia: Progress in Process Study and GIS Mapping.

Hat Yai, Thailand. 2004.12.20-24.



2004年12月23日18:00(現地時間)

プーケット島のパンガ湾(船上)にて

この頃、日の沈む沖合の海溝では、ピシッ、パシッと、、、



東北学院大関係者絶滅の危機にあった、、、のかも

今回の学会は宮城先生(右から2番目の方)には大変お世話になりました。

タイの研究者パイブーン先生(右から4番目の方)にもお世話になりました。



2004年12月23日17:47(現地時間)

国際会議参加者の日本チーム(の一部)の人たちと at Phangnga Bay, Phuket

この大会は、Prof. Charichai, 田村先生, 宮城先生, 鹿島先生のお世話で
研究発表ならびに現地討論が設定され、私どもにとっても大変有意義な大会
でした。お世話下さった実行委員会の先生方に感謝申し上げます。

あれっ！ みんなライフジャケットは？ 脱いじゃって大丈夫？！



2004年12月20日

のこさんは Poster 発表だけではなく 国際学会の特別ステージで英語で熱唱し、一同の喝采を浴びました(小岩さん撮影)。これがのこさんの国際デビューです。



2004年11月14日

北海道支部長さん(右)が事務局を訪ねてくれました。

2004年の穴掘り, 最初と最後



亘理の自然堤防穴掘り完了 2004.10.16

時は前後しますが、この頃はまだ日暮れが遅かった。
今シリーズの穴掘り作業の初日でした。そして河道関連調査の最後が下の場所です。予定通りの結果がでた調査の夕焼けはとくにきれいです。



一関遊水地内の旧河道 2004.10.30
北上川本流の旧河道は大きい。写真に収まらない。

中野高柳遺跡の調査



仙台中野高柳遺跡 深掘り 2004.10.26
七北田川左岸高柳付近の旧河道の深掘りの様子です。
旧河道の河床堆積物およびその直下にある後背湿地堆積物が
確認できました。
地表(3.1m)から後背湿地のスクモ層までの4m弱掘削しました。
壁面から水が滝のようにあふれ出る中での素掘りですので、
常に壁面崩落および重機転倒の危険があり、下には降りられません。
観察はいつものようにほとんど瞬間的で、確認と同時に埋め戻し、
という極めて緊張した状態のなかで進められます。
重機の斎藤さんに感謝です。
けら研は相変わらず危ないことに熱中しています。

ここ2年間お世話になっている長町駅東遺跡



長町駅東遺跡ならびに郡山遺跡現地説明会風景 10.23

この周辺にも旧河道が2本あるんです。
写真には、郡山の官衙へ通じる門に相当する柵跡が見えています。

けら研も参加している平泉柳之御所関連調査



一関市 釣山公園から 2004.10.19

下の写真にもありますが、最近 平泉～一関周辺もうろついています。
河道変遷や段丘のでき方についての仕事です。そこで出会う北上川の廃棄
物品は、みな恐ろしくでかいです。



平泉 柳之御所遺跡 現地説明会風景 2004.10.09

岩手県では、平泉の文化財を世界遺産(文化遺産)として登録するための準備を行っております。その中枢としての柳之御所も史跡公園として残されます。野中は、本年平泉文化共同研究(B)に採択され、周辺の調査を敢行中です。

[とつぷぺいじへ戻る](#)

[2004年上半期\(1月-9月\)記事へ](#)